

女性懇談会進捗状況(落合地区)

※ 懇談会で出た質問全てが掲載されているわけではありません。

※ 答弁者の役職名は開催当時のものです。

老人介護(施設の拡充に関する考え方)

平成 22 年度

高齢支援課 1069

質問 (落合地区住民)

健康で働いていれば困らないが、年寄りを抱えながら将来の介護に不安がある。年寄りは外へ出て行けない、生まれた土地でずっと暮らしたい。
要介護3の母が一人暮らし、食事の支度だけで一人暮らしが出来ているが、トイレもいけなくなったらどうしようかと不安だ。ケアマネージャーから特養老人ホームの申込を進められたが、300人以上の待機者がいると聞いて、ぞっとした。一度入居すれば空くことはなかなかない。自分も中津を離れないで暮らしたい。住み続けたい中津川であってほしい。
自分自身も子どもに迷惑をかけず、入れる施設が将来欲しいが、介護施設についてどう考えているか知りたい。どのくらい予算が減ったのかわかるか。

答弁 (市長)



・介護保険が制度化され、介護の社会化が進んできた。施設整備追いついていないが国の予算が削減され、待機者の対策が課題。施設の整備は国の助成を引きだしていく取り組みが必要。特に低所得者が入居できる施設が少ないので、市長会を通じて国へ、低所得者の入居できるよう個室ではない選択肢のある施設や介護サービスの使用回数に応じた支払いなど声をあげている。
・在宅でいける方は在宅で介護をお願いする。介護の社会化により家族のつながりが薄れる面もあり、施設に入居しても孤独になるなども課題。在宅介護支援センター、地域包括支援センターを設置。
・中津川、恵那の医師会など医療関係の協力などで介護保険シンポジウムを先進的に取り組んできた。中津川市、恵那市の広域事務組合で介護保険制度の開始から行ってきたなかで介護保険のあり方も議論あり。予算額については今答えられないので後日届くようにしたい。

実施済・実施中の事項



・平成17年度より「三位一体改革」がなされ、新たに市町村交付金(地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金)が創設されたが、国の予算額は減少しました。
平成17年度予算額866億円
平成20年度予算額323億円
・平成21年度より、国は「介護基盤緊急整備等特別対策事業」を創設し、「三位一体改革」前と同程度の予算措置を行っています。
平成21年度予算額866億円
平成22年度予算額866億円
平成23年度予算額866億円

今後の計画等

予定日

88歳のお祝い

平成 22 年度

高齢支援課 1077

質問 (落合地区住民)

・今年は写真を撮っていただけなかった。お話も十分になくて、割と簡単に花など贈呈して帰られた。年をとると写真を撮ることはなかなかなくて、最後の写真と思っている人もある。写真1枚でどれだけ皆さんが嬉しかったかと思う。
・福祉の比率が落ちている気がする。自分たちで(地域で)やらないといけなかもかもしれないが、市で撮ってもらえるならお願いしたい。

答弁 (市長)



・写真の件はなぜやめたのか、今までなぜやっていたのか調べて、地域でという話もあったが、大変なことかわからないので、よく聞いてみて判断したいので後日答えたい。
・全体的に福祉が落ちているという話だが、一律カットではなくメリハリを付けて、声の大きさ、数だけではなく、カットするところ、増やすところがあっていい。そういう形で予算を考えている。
・中津川に住んでいる人全体でのバランスをとってやっていく。

実施済・実施中の事項



現在88歳のお祝いについては、記念品及びお祝いカードをお渡ししています。記念品等については、地元高校生のボランティアで作成していただき、お渡ししており、今後もその方向で地域の力を活用させて頂きながら実施していきたいと考えております。なお、100歳及び年齢上位5位の方については、従来通り記念品及び写真の撮影を実施しています。

今後の計画等

予定日

市街地活性化

平成 22 年度

商業振興課 1078

質問 (落合地区住民)

・アピタ以外的大型店舗がないので恵那、多治見、名古屋に出かけていく。
・子どもたちの就職先としても選択先が少ない。
・企業誘致、店舗などどう考えているか。
・パチンコ店ではなく、日常生活に便利な店舗が欲しい。就職先としての企業もほしい。

答弁 (市長)

○
・店舗については恵那のまちづくりとは違う、区画整理をして土地の持ち主がチェーン店に貸す(収益は吸い上げられる、地代のみが地元の収入)。中津の商店街は正念場。中心市街地活性化計画のなかで六斎市、新図書館の計画、18億かかる事業を実質市の負担が26%4億7千万円で行える。賑わいをなくさず、街の顔とする。路地、手作りの商品など人間くささを売り物にできる町を思い描いている。
・企業については有効求人倍率は県下では高い状態。工業団地、三菱、王子製紙など企業展開している状態になっているが、主に製造業なので、選択肢増やす必要はある。IT産業など、都会からもってくるのではなく、地元から育てていく、既存起業家を核にやっていきたい。農業、畜産業なども耕作放棄地や空き家などを活用していくなど、安全安心な食糧確保なども取り組んでいきたい。

実施済・実施中の事項

●
中心市街地活性化基本計画に掲げる33事業を実施し、中心市街地をシャッター街にしない取り組みを商工会議所等と協働で行っています。

今後の計画等

・中心市街地がシャッター街にならないよう、会議所をはじめ商店街、商業振興連盟等との意見交換を進め様々な施策を展開しています。今後さらに次の施策について検討していきます。
・新図書館建設に合わせた商店街の取り組みを支援します。
・にぎわいプラザ、新図書館、公民館の機能分担による連携を強化します。
・子供からお年寄りまで歩いて楽しめる街づくりを行います。
・街なかのコミュニティ機能を強化します。

予定日 2013/3/31

河川敷について

平成 21 年度

地域事業室 646

質問 (落合地区住民)

落合中学校裏の河川敷について花や木を植栽して遊歩道を作っていきたいが、県の許可は下りないか。

答弁 (市長)

△
作る場所によっても許可の有無が違ってくる。余地はあると思うので市が間に入り県へできる方向で話をしていきたい。

実施済・実施中の事項

■
・河川区域内には、花壇の作成、樹木の植栽はできないことになっています。
・平成22年度に河川内整地工事の際、法面保護工としてマツバギクを植栽していただきました。

今後の計画等

予定日

家具の転倒防止について

平成 21 年度

防災安全課 648

質問 (落合地区住民)

転倒防止の技術的なことは防災士ではできないのか。

答弁 (市長)

▲
全体的な知識を持った人と理解している。確認して回答したい。

実施済・実施中の事項

■
市内の防災士が中心となり家具転倒防止金具の取り付け講習会を実施しており、取り付けに必要な技術を身につけております。
平成23年度は引き続き、落合地区防災連絡協議会の中心組織として落合地区防災士の会が、落合地区内の災害時要援護者世帯の家具転倒防止事業及び耐震化の啓発事業の普及推進を行っています。

今後の計画等

平成24年度は23年度同様に啓発及び普及推進を行います。

予定日